

高虎公の紹介
弘治2年(1556)、近江国犬上郡藤堂村(現在の滋賀県甲良町)に郷土虎高の次男として誕生。戦国時代から江戸時代にかけて、大きな身体と勇猛果敢さで戦功を挙げ立身出世していった。



た戦国武将。また先見のある助言・戦略を練れる知将でもあった。築城技術の名手として有名で、津市の町の基礎を造り、城下を発展・整備した。

記念事業予定表

4月	26日(日)	オープニングセレモニー、記念講演会
	26日(日)	高虎楽座
	26日(日)	400人茶会と琴の演奏
	26日(日)	薪能
5月	11日(日)	久居地域「街道ウォーキング」
	18日(日)	香良洲地域「街道ウォーキング」
	31日(日)	津市物産まつり
6月	8日(日)	安濃地域「街道ウォーキング」
	22日(日)	一志地域「街道ウォーキング」
7月	5日(土)	津のまん中ウォーク
	13日(日)	白山地域「街道ウォーキング」
	19日(土)	藤堂高虎公入府400年記念講演・記念対談
	19日(土)	美杉地域「街道ウォーキング」
	27日(日)	ビーチバレー in 御殿場
8月	2日~24日	高虎公特別展覧会
	10日(日)	津花火大会
	23日(土)	美里地域「街道ウォーキング」
9月	28日(日)	芸濃地域「街道ウォーキング」

市民自主事業予定表

4月	5日	手作り甲冑教室(三重ドリームクラブ)
	26日	興味新津、和気藍藍 手作り体験(伊勢木綿の会)
	26日	興味新津、和気藍藍 手作り体験(伊勢木綿の会)
	28日~5月4日	「藤堂藩歴代のお殿様」のパネル展示(伊勢木綿の会)
5月	11日	手作り甲冑教室(三重ドリームクラブ)
	25日	手作り甲冑教室(三重ドリームクラブ)
	10日	高虎のつどい(NHK大河ドラマ「藤堂高虎」を誘致する会)
	24日	高虎のつどい(NHK大河ドラマ「藤堂高虎」を誘致する会)
	31日	高虎のつどい(NHK大河ドラマ「藤堂高虎」を誘致する会)
	28日~6月1日	藤堂高虎ゆかりの地写真展(西山 光正)
6月	8日	手作り甲冑教室(三重ドリームクラブ)
	22日	手作り甲冑教室(三重ドリームクラブ)
	5日	高虎のつどい(NHK大河ドラマ「藤堂高虎」を誘致する会)
	7日	高虎のつどい(NHK大河ドラマ「藤堂高虎」を誘致する会)
	14日	高虎のつどい(NHK大河ドラマ「藤堂高虎」を誘致する会)
	21日	高虎のつどい(NHK大河ドラマ「藤堂高虎」を誘致する会)
	28日	高虎のつどい(NHK大河ドラマ「藤堂高虎」を誘致する会)
7月	13日	手作り甲冑教室(三重ドリームクラブ)
	27日	手作り甲冑教室(三重ドリームクラブ)
8月	10日	手作り甲冑教室(三重ドリームクラブ)
	24日	手作り甲冑教室(三重ドリームクラブ)
9月	14日	手作り甲冑教室(三重ドリームクラブ)
	28日	手作り甲冑教室(三重ドリームクラブ)
	20日~28日	藤堂高虎ゆかりの地を描く展覧会(高虎公ゆかりの地を描く展実行委員会)

イベント情報

特集 藤堂高虎公入府400年記念事業の紹介

Z vol.1 INDEX

02 page 目次

03 page **特集 藤堂高虎公入府400年記念事業の紹介** ①イベント情報

04 page ②マスコットキャラクター「シロモチくん」の紹介 ③審査風景

05 page ④入賞作品の紹介 ⑤三重県デザイン協会の紹介

06 page ⑥藤堂高虎公について ⑦高虎公の足跡

07 page ⑧高虎公ゆかりの地の紹介

08 page ⑨高虎公の紹介(子供向け)

09 page ⑩高虎検定 ⑪市民自主事業

10 page ⑪市民自主事業

11 page **津の町の紹介** ①キス釣り大会 ②ざるやぶり

12 page ③かんこ踊り ④矢頭の大杉

13 page **企業の紹介** ①猪の倉温泉

14 page **津マップ**

15 page **ホームページの紹介** 津市観光協会 動画のページ

16 page **MAP**

17 page **広告**

23 page **求人広告**

高虎公関係記事「安濃津ガイド协会会长」西山 光正 / 取材:大西 充代・楢本 多喜子

藤堂高虎公入府400年記念事業公式ホームページ
http://www.tsukanko.jp/takatora

公認キャラクターの「シロモチくん」です!

主催/藤堂高虎公入府400年記念事業実行委員会
高虎楽座運営協議会・津市民新能実行委員会

マス コット キャラクター
「シロモチくん」の紹介



藤堂高虎公入府400年記念事業
公認マスコットキャラクター「シロモチくん」

シロモチくんについて

シロモチくんは、高虎公が主君を求め放浪中に白いモチをつまみぐいした逸話と「『城持ち』になれるように」と兵を励ました逸話を掛けて誕生した。

現在、シロモチくん認知度アップの着ぐる

み制作に向け、100万円円で寄付を募集中。ご協力いただける場合は、左記口座まで。

お振り込み先
百五銀行 本店営業部
普通預金 965933
特定非営利活動法人
三重県デザイン協会
※領収書が必要な場合はご連絡ください。
お問い合わせ先
三重県デザイン協会 事務局 村田
TEL.059-213-7725

シロモチくんの使用は同協会の許可制だが、営利目的でなければ料金は不要。問い合わせは同協会事務局電話059(213)7725まで。

シロモチくんの募集から選定まで

08年の高虎公入府400年を記念して、津市や高虎公を広く知ってもらおうと、昨

入賞作品の紹介



三重県
デザイン
協会の紹介

1988年、県内のデザイナー・クリエイターが互いに交流して資質向上することなどを目的に設立。02年には、NPO法人となり、優れたデザインの普及に取り組み、心豊かな文化の形成に寄与するために活動を続けている。

通称は、「MIE DESIGN ASSOCIATION」の頭文字から「MDA(エムダ)」。主な活動は、三重県内のデザインの事業受託や展覧会の開催など。

88年の「津市制記念国際470級ヨットレースシンボルマーク」制作を皮切りに、91

審査風景
今年2月22日、津市副市長を迎え、同協会会員7人が、3時間にわたり審査。力作が多く、嬉しい悲鳴。



努力を重ねている。現在、会員募集中。三重県内在住のグラフィックデザイナーやファッションデザイナー、建築デザイナー、陶芸デザイナーなど、クリエイティブな仕事をされているデザイナー協会に興味のある人ならだれでも大歓迎！

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 **三重県デザイン協会**
〒514-0056 三重県津市北河路町19番地1 TEL.059-213-7725
担当: 事務局/村田まで
Mail/mda@fancy.ocn.ne.jp

藤堂高虎公について

戦国の世を武勇と才覚で駆け上がった津の偉人藤堂高虎公。入府400年目の今年、高虎公への関心はますます高まりを見せています。

高虎公は弘治2年(1556)近江国犬上郡藤堂村(現在の滋賀県犬上郡甲良町)で生まれました。幼名は与吉。幼い頃から体格に恵まれ、成人した時は6尺2寸(188cm)もあったといわれています。

元亀元年(1570)15歳で浅井長政に仕え、姉川の戦いで初陣を飾ります。その後豊臣秀吉の弟秀長に仕え、各地で戦果を挙げ、頭角を表します。秀長亡き後は秀吉に仕え、文禄慶長の役に従軍した。2度の朝鮮出兵などを経て、文禄4年(1595)7万石の伊

予板島の城主に。慶長5年(1600)には関が原の戦いの功として家康より、伊予半国の領主を命ぜられ20万石の大名になりました。また、縄張りや普請も手がけ、築城の名手として津

・上野両城の改修のほか、丹波国篠山城、今治城の築城や江戸・大阪城の大改修など合計20余の工事に携わり手腕を発揮しました。

慶長13年(1608)、家康の命を受け、伊勢・伊賀国の領主として入府。津藩祖となり津城に入城しました。大阪冬・夏の陣にも従軍、日光東照宮の造営にもあたり、元和3年には32万石余の大大名となりました。寛永7年(1630)江戸の藩邸で死去、享年75歳でした。

藤堂高虎公の足跡

西暦	元号	年齢	高虎年表
弘治2年	1556年	(15)	近江国犬上郡藤堂村に生まれる
元亀元年	1570年	(15)	浅井長政に仕え、姉川の戦いで初従軍
天正4年	1576年	(21)	木下美濃守秀長に仕える(禄300石)
天正9年	1581年	(26)	豪族一色修理太夫義直の娘久と結婚
天正11年	1583年	(28)	但馬国出石城の築城(4600石)
天正13年	1585年	(30)	紀州一揆征伐。郡山城築城(1万石)
天正19年	1591年	(36)	秀長が没する
文禄元年	1592年	(37)	文禄の役に従軍
文禄4年	1595年	(40)	秀保が没し、高野山に隠遁
慶長5年	1597年	(42)	伊予板島城主となる(7万石)、慶長の役に従軍
慶長7年	1602年	(44)	関が原の戦いで東軍として従軍
慶長13年	1608年	(50)	伊予半国の領主となる(20万石) 今治城築城起工
慶長16年	1611年	(53)	家康より伊賀・伊勢(安濃・一志郡)に転封を命じられる (22万石)伊勢に入府、津藩祖となる
慶長19年	1614年	(56)	津・上野両城の改修に着手
元和元年	1615年	(59)	大阪冬の陣に従軍
元和2年	1616年	(60)	大阪夏の陣に従軍
元和3年	1617年	(61)	家康が没する
元和6年	1620年	(64)	久芳夫人が津城で没する
元和8年	1622年	(66)	造営奉行として、日光東照宮の造営に
元和10年	1624年	(68)	従軍、竣工(32万石)
元和13年	1627年	(71)	大阪城修築
元和15年	1629年	(73)	上野寛永寺に寒松院建立
元和17年	1631年	(75)	京都南禅寺三門(山門)寄進
寛永7年	1630年	(75)	江戸の藩邸で没する

「実伝藤堂高虎」原作/梅原三千、訳・編集/西山光正 一より抜粋。

藤堂高虎公のゆかりの地紹介

寒松院

清賢大僧都が「昌泉院」として開創。藩祖高虎の霊を祀るため、高虎のし号をとり、寒松院と改めた。以後、藤堂家の菩提寺となる。墓地には津藤堂藩初代高虎公や高虎公夫人などの壮大な五輪塔や墓が立ち並んでいる。

■住所/津市寿町 (津市指定史跡)



津城

天正8年(1580)織田信包(信長の弟)により創築。

その後慶長13年(1608)藤堂高虎公が津藩主となる。慶長16年より城の大改修を行い、城下町を整備、津市の町の基礎を造った。同城は高虎公が確立した堀が回の字形に巡る「輪郭式」「囲郭式」と呼ばれる形式の城であり、近世城郭の典型、平城の様式であった。

明治維新になり廃城、今では本丸・西の丸石垣と内堀の一部に城の面影を見ることが

出来る。本丸東の東鉄門跡角にある隅櫓は観光用に櫓を模して建てたものである。

■住所/津市丸の内 (三重県指定史跡)



恵日山観音寺

古くから「津観音」「観音さん」と呼ばれ、庶民に親しまれてきた真言宗の名刹。浅草観音、大須観音と並び「日本三大観音」の一つといわれている。

慶長13年(1608)津藩主として入府した高虎公は、津観音

が津城の鬼門にあたるため、鬼門鎮護に観音堂を建立。代々藤堂家の祈願所として特別の加護を行った。

寛永5年(1628)には銅燈籠一基(現存)を寄進、翌年には徳川家光將軍の平癒祈願にと楼門の仁王門を建立した。平成13年、県で唯一の五重塔建立。

■住所/津市大門



四天王寺

曹洞宗永平寺派の中本場で、推古天皇の勅

願により聖徳太子が建立したものと伝えられている。

慶長13年(1608)に高虎公が津藩主となり改築再建した。2代藩主高次は本堂を改築、寺領を寄進した。境内の墓地には、高虎公の正室一色氏久芳夫人や織田信長の生母の墓など武将・学者などの墓が多くある。

■住所/津市栄町 (総門は津市指定有形文化財)



津の町の礎を築いた「藤堂高虎公」を知っていますか。

戦国時代から江戸時代にかけて活躍した戦国武将であり、築城の名手としても有名だった藤堂高虎公は、加藤清正、黒田官兵衛とともに戦国の三大築城家のひとりに数えられるほどでした。

数々の戦功を挙げた藤堂高虎公は慶長13年（1608）、前任地の伊予今治から伊勢・伊賀の国に入府（領地に入ること）しました。入府400年目にあたる今年、津市では高虎公に関連する記念行事がたくさん開催されます。この機会に津の偉人である「藤堂高虎公」について学んでみませんか。

とうとうたかとらこう どなた人？ こんなた人？ 「藤堂高虎公」

藤堂高虎公は弘治2年（1556）、近江国犬上郡藤堂村（現在の滋賀県犬上郡甲良町）で生まれました。幼名を与吉といい、幼い頃から体格に恵まれ、成人した時は6尺2寸（188cm）もあったといわれています。

元亀元年（1570）、15歳で浅井長政に仕え、姉川の戦いに初出陣しました。その後、豊臣秀吉の弟秀長に仕え、各地で戦果を挙げ、頭角を表していきます。秀長亡き後は秀吉に仕え、文禄・慶長の役に。文禄4年（1595）には7万石の伊予板島の城主になりました。慶長5年（1600）の関が原の戦いの功として家康より、伊予半国の領主を命ぜられ20万石の大名になりました。

また、縄張り（設計）や普請（土木工事）も手がけ、築城の名手として津・上野両城の改修のほか、丹波国篠山城、今治城の築城や江戸・大阪城の大改修など全国で20以上の城を築城・改修し、城下町づくりにも多く携わりました。

慶長13年（1608）、家康の命を受け、伊勢・伊賀国の領主として入府。津藩祖となり津城に入城しました。

戦によって荒れた町の再興に取り組み、津城の整備拡張や武家屋敷や町屋、寺町などを配した城下町全体での町づくりを行いました。伊勢街道を町の中心部に移し、城下町の繁栄をもたらすなど町づくりでもその手腕は大いに発揮されました。

大阪冬・夏の陣にも従軍、日光東照宮の造営にもあたり、元和3年には32万石余の大大名となりました。寛永7年（1630）江戸の藩邸で死去、享年75歳でした。

勇猛果敢さと高い築城術を持つ先見力のある知将として、戦国の世を駆け上っていった「藤堂高虎公」。津市内には津城や寒松院、恵日山観音寺、塔世山四天王寺などを始めとするゆかりの地があります。記念すべき今年、高虎公に思いを馳せながら訪ねてみてはいかがでしょうか。

高虎検定

問1 高虎公はどこで生まれました？

- ① 大阪
- ② 近江
- ③ 津

問2 高虎公の幼名は？

- ① 虎吉
- ② 茂吉
- ③ 与吉

問3 高虎公の身長は？

- ① 約170cm
- ② 約180cm
- ③ 約190cm

問4 高虎公の初陣となったのは？

- ① 桶狭間の戦い
- ② 姉川の戦い
- ③ 長篠の戦い

問5 高虎公が関が原の戦いで属したのは？

- ① 東軍
- ② 西軍
- ③ 南軍

問6 高虎公が初代津藩主となったのは？

- ① 慶長5年
- ② 慶長8年
- ③ 慶長13年

問7 高虎公の唐冠形兜は誰からの恩賞？

- ① 秀長
- ② 秀吉
- ③ 家康

問8 高虎公は何術の名手と呼ばれた？

- ① 医術
- ② 築城術
- ③ 馬術

問9 高虎公が大改修した津城の城の種類は？

- ① 平城
- ② 山城
- ③ 平山城

問10 藤堂家の家紋は？

- ① 橘
- ② 柏
- ③ 蔦

市民自主事業

手作り甲冑教室

NPO法人「三重ドリームクラブ」（加藤久代表）主催の「手作り甲冑教室」は津まつりの時代行列「高虎時代絵巻」に手作り甲冑で参加しようと9月完成を目指し、製作に励んでいる。

磯竹正道氏の指導を受け、15人の参加者は4月から月2回教室に参加。従来より早いペースでの製作にも熱



心に取り組んでいる。

加藤代表は「今回15領の甲冑を完成させ、計約30領の甲冑で高虎公入府400年と共に40周年を迎える時代行列を盛り上げたい」と目を輝かせて話した。

藤堂高虎公ゆかりの地写真展

津の風景・風物記録写真愛好家の西山光正さんは、5月28日から6月1日まで津市のリージョンプラザ3階展示室で同写真展を開催した。藤堂高虎公への関心が高まる中、連日大勢の人が訪れた。



津市民馴染みの津城跡や恵日山観音寺を始め、高虎公出生地、造営奉行として携わった日光東照宮、江戸城跡など藤堂高虎公が全国で活躍した足跡を見ることが出来る写真を訪れた人たちは熱心に鑑賞していた。

西山さんが四季折々に全国のゆかりの地に赴き、撮影した写真や今治城築城・開町400年祭

実行委員会協力提供の復

元された今治城鉄御門の写真2点を含むカラー全紙大38点、ワイド四切大127点が展示された。

高虎のつどい

今年活動8年目を迎えるNHK大河ドラマ「藤堂高虎」を誘致する会（小林賢司世話人代表）は、より広く藤堂高虎公を知ってもらおうと5月から6月にかけて、旧津市を除く旧市町村9地区で「高虎のつどい」を開催した。

歴史作家の横山高治氏や三重大学教授の藤田達生氏など4人の講師が各会場で講演。興味深い内

容に熱心にメモをとる参加者の姿が多く見られた。また津城復元模型写真や昭和14年製作の映画「藤堂高虎」の写真などのミニ資料展も同時開催した。



興味新津、和気藍 手作り体験

伊勢木綿の会（藤本智恵子代表）は、津市の伝統産業である伊勢木綿に親しみ、広く知ってもら

おうと4月から11月にかけて3回、手作り体験教室を開催する。

4月28日、津市のだいたて商店街で開催した教室にはのべ70人が参加。参加者らはあじさいのフローチや風車などの小物作りを楽しんだ。「伊勢木綿の手さわりや色、柄など実際に触れるいい機会。ぜひ体験してみてください」と藤本代表。次回は10月11・12日、11月22日に開催する。場所などは未定。

同会は10年前に発足。津市を拠点に40、70代の女性会員20人が活動している

P.9 高虎検定 答え

問1 ② 近江

問2 ③ 与吉

問3 ③ 約190cm

問4 ② 姉川の戦い

問5 ① 東軍

問6 ③ 慶長13年

問7 ② 秀吉

問8 ② 築城術

問9 ① 平城

問10 ③ 篇